

博士学位論文の製本について

公聴会終了後、主論文（最終版）全文の印刷体を下記のとおり簡易製本の上、提出してください。

提出部数は1冊です。

《製本の体裁についての注意》

- ・図書館における閲覧・永年保存等を考慮した仕上がりとし、一冊の本の体裁をとること。
(理学研究科「学事要項」程度以上の製本で、両面コピーとする。)
- ・表紙及び背表紙に論文題目、氏名を必ず記載すること。
注1) 論文題目は、論文目録・学位審査報告書と完全に一致させてください。
(大文字・小文字の区別や斜体などの文字飾りなど一致させること)
注2) 論文題目・氏名以外(例えば所属・職名、「学位申請論文」などの文言)は一切記載しないこと。
- ・学位論文が英文の場合は、論文題目・氏名とも英文で記載し、和訳等は記載しないこと。
- ・製本の範囲は主論文のみとする。(主論文の基礎となる部分と参考論文は含みません。)
- ・氏名の誤り、印刷ミス及び乱丁(ページの重複、上下逆さ、順序乱れ、ナンバリングミス)、落丁(印刷ミスによるページ白紙、読み取り不可)等がないよう確認してください。

